

産地レポート ～八戸いちご～



八戸市では、冬期間でも日照時間が長く、気温が低い気候を生かし、いちごの栽培が盛んです。

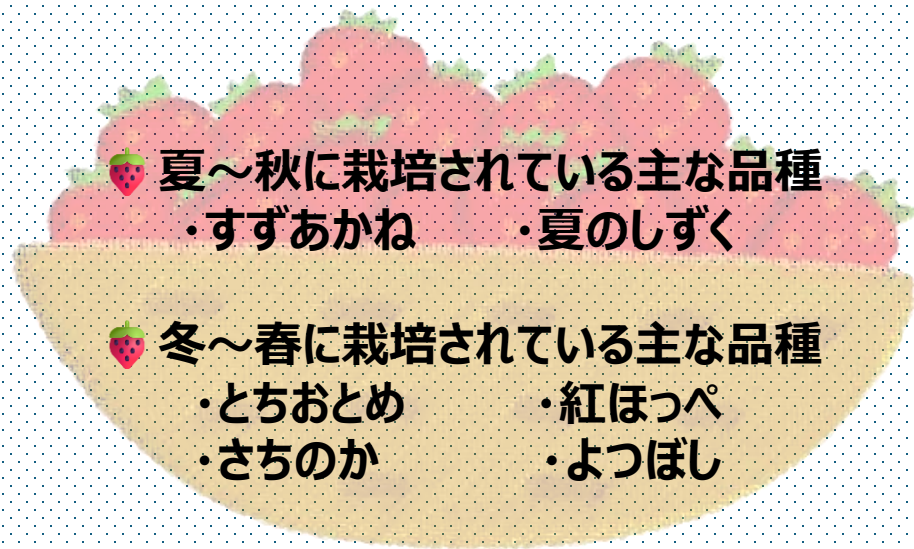
「八戸いちご」の魅力や知名度向上に向けた取組を取材してきました。

～八戸市における生産状況～

○県内でも有数の産地となっています

八戸いちごは、県内出荷量の約 4 割を占めており、県内でも有数のいちご産地となっています。

また、「とちおとめ」や「すずあかね」など様々な品種を栽培しており、1 年を通して出荷しています。



○完熟を食べられることが魅力です

出荷のピークは、1 2 月から 1 月にかけてです。

冬期間に出荷されるいちごは、冬の寒さに当たることで甘みが凝縮されています。また、完熟で出荷しているため、より濃厚ないちごを味わうことができます。



～販売促進に向けた取組～

○約70年前から栽培しています

八戸市の中でも、特に市川地区でいちごの生産が盛んに行われています。

昭和30年頃から本格的に栽培を始め、当初7名だった生産者は、現在約30名まで増加しました。



○主に県内に出荷しています

八戸いちごは、八戸市を中心に、主に県内のスーパーなどに出荷しています。

見つけた際は是非お買い求めください。

包装フィルムや段ボールに印刷されている「八戸」の文字が目印です。



いちごは、先端に甘み成分が集中します。そのため、先端が平らな形の方が甘いんです。

～認知度向上に向けた取組～

○「よつぼし」の生産拡大に取り組んでいます。

全国でもまだ生産量が少ない「よつぼし」の生産に取り組んでいます。

JA八戸では、県内でいち早く「よつぼし」の栽培に取り組み、現在は5名の生産者が栽培しています。

「よつぼし」は、「甘味」「酸味」「風味」「うまみ」が揃っており、四つ星級に美味しいことが特徴であり、名前の由来にもなっています。



○八戸いちごマルシェなどで直売会を開催しています

八戸市が毎年開催している「八戸いちごマルシェ」やヴァンラーレ八戸試合会場などで直売会を開催しています。

直売会では、生産者の皆さんが直接いちごを販売しているので、品種ごとの特徴を聞いて、推し品種を見つけてみてくださいね！

